

事務局だより

会議報告

平成30年10月1日より平成31年3月31日まで

◆第19回理事会

月日…平成31年3月4日

場所…主たる事務所

出席…理事・監事

決議事項…

- ① 自平成30年4月1日至平成31年3月31日事業年度に係る事業計画の変更及び補正予算の件
- ② 自平成31年4月1日至平成32年3月31日事業年度に係る事業計画及び収支予算の件
- ③ 資金調達及び設備投資の見込みの件
- ④ 顧問就任の件

報告事項…

- ① 台風21号による被害状況と復旧工事についての報告
- ② 自平成30年6月5日至平成31年3月31日の理事長および専務理事の職務執行の報告
- ③ 役員退任の報告
- ④ 次期理事候補者の報告
- ⑤ 会員数の報告

会員数報告(平成31年2月20日現在)

賛助会員 97101件
 団体・法人会員 1,199名
 個人会員 1,397件
 合計 1,397件

役員名簿は財団ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

平成31年度会員証および特典パンフレット

平成31年度の会員証は6月下旬にお届けいたします。平成30年度会員証は6月30日まで有効ですのでご利用いただけます。

◆新入会員ご誘致のお願い

多くの方に世界遺産札の森の保存にご理解ご協力をいただきたく願っております。新入会員のご誘致をよろしくお願いたします。ご連絡いただければ「入会案内パンフレット」をお届けいたします。

◆ご寄付のお願い

平成30年度も多くの皆様にご寄付をいただき、札の森の整備・神社建造物の修復を実施することができました。特に台風21号の被害に際しましては、たくさんのご支援をいただきありがとうございました。平成31年度も引き続きましてご寄付を賜りますようよろしくお願い申し上げます。同封の振込用紙をご利用ください。

下鴨神社だより

行事日程

●平成31年行事

4月29日	市民植樹祭 (午前9時～)
5月3日	流鏝馬神事 (午後1時～)
5月12日	御蔭祭 (午前9時～)
5月15日	賀茂祭／葵祭 (午前11時40分～)
6月8日	螢火の茶会 (午後5時～)
7月19日～28日	みたらし祭 (午前5時半～)
8月7日	矢取り神事 (午後6時半～)
9月13日	名月管絃祭 (午後6時半～)

ニュース

寄附金に税額控除制度が適用されます

当財団は平成29年8月10日付で内閣府より税額控除に係る証明書を取得いたしました。これにより、個人の当財団への寄附金・会費について、領収書及び税額控除に係る証明書を添付の上、確定申告時に税額控除制度の適用を選択した場合、以下の算式により算出された額が所得税額から控除されます。

$$\text{寄附金特別控除額} = \left[\text{その年中に支払った公益社団法人等に対する寄附金の額の合計額} \text{ (※1)} - 2,000\text{円} \right] \times 40\% \text{ (※2)}$$

※1 「その年中に支払った公益社団法人等に対する寄附金の額の合計額」については、その年分の総所得金額等の40%相当額を限度とされます。

※2 寄附金特別控除額は、所得税額の25%相当額が限度となります。



札の森



札の森財団会報

平成31年3月31日発行
通号67号

Vol. 19

札の森ぶらりぶらり 第18回

「台風21号による札の森での樹木の被害とその再生に向けて」

札の森NEWS／催事案内

表紙写真／中田 昭

編集・発行

公益財団法人
世界遺産賀茂御祖神社境内札の森保存会事務局

〒606-0807 京都市左京区下鴨泉川町59 賀茂御祖神社内 ☎075-781-0010

www.tadasunomori.or.jp

題字
賀茂御祖神社
新木直人宮司

新木直人宮司

糺の森財団

中国本部長 鶴野 政人

(株式会社ヒロテック 会長)



糺の森の思い出は、学生生活の思い出と重なり、大変なつかしく思い出されます。同志社大学に入学した私は、糺の森へと続く鞍馬口通付近に下宿しておりました。当時の糺の森は、鬱蒼とした森であり、気軽に足を踏み入れることができない雰囲気だ、「神宿る森」と感じていたことを記憶しております。当時は、大阪万博の開催など、高度経済成長期でもあり、京都市内では目まぐるしく都市化が進んでおりましたが、糺の森だけは時間が止まったような静寂に包まれ、巨木を見ては悠久の歴史に思いをめぐらし、心む空間でありました。

この度、少しでも昔のご恩返しが出来ればとの思いで、糺の森財団中国本部長をお受けさせていただきました。

昨年九月四日に発生した台風二十一号により、糺の森では約二百五十本近くの倒木にて甚大な被害を受け、現在も倒木の処理作業が続いております。完全な復興、整備には、まだまだ時間を要することとなります。私どもの中国地方においても、同年七月の西日本豪雨の影響により、広島県をはじめ西日本各地では非常な大被害を受けております。昨今、私たちは幾度も自然災害の脅威を目の当たりにしており、あらためて、自然の前では人間は無力であることを思い知らされます。西洋の自然観は、人が克服する概念が潜在すると言われますが、我が国では古来より人が自然を支配するのでは無く、自然を尊び自然と共存した生活を営むことを重視しておりました。糺の森の保全事業は、どのようにして人と自然が共存共栄出来るかを実施する、環境共生モデルとなる大きな役割があります。

先人達が実践してきた自然との共生を正しく受け渡すためにも、皆様方には引き続き糺の森の保全活動にご理解とご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

台風21号による糺の森での 樹木の被害とその再生に向けて

近畿大学非常勤講師

田端 敬三

◆台風による樹木の被害状況

・「(1) 根返り…根こそぎ倒れる
(写真1)」

・「(2) 幹折れ…主幹が途中から
折れ、樹冠(樹木の上)に広がっ



写真1 / シラカシの根返り木

平成30年9月4日に台風21号が、さらに30日には24号と、約1か月間に2つもの大型台風が京都を直撃しました。これらの台風により、糺の森でも多数の倒木が発生し、その被害状況を把握するため、林内での樹木調査を行って参りました。調査の内容としては、平成22年に生育が確認された幹直径10センチ以上の樹木、3,653本を再び見て回り、以下の4つの形態の台風被害の有無を記録しました。



写真2 / シイの幹折れ木



写真提供：下鴨神社

◇百年先を見据えた森の保全に向けて

糺の森は、数千年前の京都盆地、古代の山城原野を覆っていたムクノキ、エノキ、ケヤキが優占する落葉広葉樹林の植生を京都で唯一、今も残す貴重な場所です。百年、二百年先を見据えた森の保全策としては、林内で種子から芽生えたムクノキ、エノキ、ケヤキの幼木を後継樹として育ててゆくのが最も自然で理想的な形です。しかし、こうした芽生えの殆どは小さな段階で枯れてしまいます。従って、ある程度大きさまで既に育った苗木を、今回の台風被害により形成されたギャップの下の日当りの良い環境に移植し、さらにはササ等に被陰されないように適切な管理を施しつつ育成を図る方法が現実かと考えます。

これからも糺の森での樹木調査を続け、「京都の誇り」「日本の誇り」であるこの大切な森の保全の役割に立てばと思っております。



写真4 / シイの根返り木(上)によって巻き添え被害を受けたカクレミノ(下)



写真3 / 大枝落ちしたケヤキ

落ちが114本と最多で、被害木の約40%を占めていました。次いで、根返りが89本、幹折れが69本、巻き添えが16本の順でした。

樹種別では、ムクノキの被害木が44本と最も多く、次いでアラカシが38本、エノキとケヤキが各々34本となっていました。

◇台風被害からの森の再生

今回の台風で、幹の途中から大きく折れた樹木が多数見られました。しかし、樹種の中には、幹の大部分が損傷を受けても、根元部分に蓄えた栄養分を基に、また根株から新しい枝葉を伸ばすものがあります。これは萌芽再生と呼ばれる再成長のしくみで、カシ類などブナ科の樹木は、特にこの能力が高いと言われています。決して、今回の被害木の全てが枯れたわけではなく、いくつかの樹々では、幹が大きく傷つきながらも、春以降、再び芽を出し、遅く成長してゆく姿が見られるはずです。

その一方で残念ながら、台風被害により枯れてしまった樹木もやはり存在します。しかし、強風などによ



写真5 / 森の上層に形成されたギャップ

る大木の枯死は、森の生態系での重要な過程ともなっています。通常、森の上層では大木が枝葉を大きく広げ、天井を塞いでいます。そのため、下層の幼木は、上空からの光を僅かしか受けられず、充分に育つことができません。しかし、大木の幹が大きく折れたり、倒れたりすることで、森の天井に穴が開いた

・「(5) ギャップ(写真5)」が生まれます。ここでは太陽の光が地表面まで届き、下層の幼木が育つ環境となります。

また、地表面に落葉が厚く堆積した状態だと、芽生えの小さな根は、その層を突き抜け土壌まで達することが難しく、中々定着できません。



写真6 / 根返り木によって形成された「盛り土」と「窪地」

しかし、大木が根返りを起こした場合、積もっていた落葉が取り除かれ、土壌が露出し、小さな芽生えの定着に適した環境となります。さらに、根が掘り起こされることで、平坦だった地表面に「盛り土」と「窪地」という微地形が創られ(写真6)、各々の環境に適応した多様な樹種の発生が促されます。

森は「死」と「再生」を絶えず繰り返しています。老木の枯死は、残念なことですが、それはまた同時に、新たな若木の誕生へとつながってゆきます。

糺の森 NEWS

発行所 公益財団法人
世界遺産賀茂御祖神社境内糺の森保存会事務局
www.tadasunomori.or.jp

世界遺産糺の森文化講演会 開催

平成30年秋講座
「ラグビー・ワールドカップの楽しみ方」

平成30年12月9日に下鴨神社の公文所において、関西ラグビー協会会長の坂田好弘氏とラグビージャーナリストの村上晃一氏を講師にお迎えして開催いたしました。

来年の9月に開催されるラグビーワールドカップについて、日本代表を経験された坂田会長ならではの詳しい内幕やニュージーランド留学時代の苦労話など興味深い内容で講演をしていただきました。



平成31年春講座
「速海ちひろのハープのおはなし」

平成30年3月16日に下鴨神社の公文所において、グランドハープの弾き歌いを開拓し、現在の第一人者として、国内外で注目を集めている速海ちひろ氏をお迎えし、ハープの魅力を語っていただきました。後半はフルート奏者の森本英希氏とのコラボで素敵な演奏と歌唱をご披露いただきました。



「世界遺産 京都下鴨神社」展」を 名古屋にて開催

会場 名鉄百貨店10階クローバーサロン
日時 11月8日～11月13日

葵祭はじめ二千年余りの伝統を今につなぐ、下鴨神社が所蔵する古文書や絵巻物などを中心に、3年ぶりに名古屋で開催をいたしました。朝廷とのゆかりの深い下鴨神社の歴史と伝統、その一端に触れていただき、6日間で1,000人を超える方々にご来場いただき、文化財保護・環境保全への理解を深めていただくことができました。

秋の糺の森コンサート 「音の森」開催

9月はサクソスカルテットによるポップスからクラシックまでの幅広い演奏。10月は女性デュオでバイオリンとフルートの構成でポップスや映画音楽など。11月は2人のチェロ奏者によるダブルチェロコンサート。爽やかな秋にふさわしい演奏が糺の森に響いていました。4月から春のコンサートがスタートします。ご期待ください。



助成対象事業

糺の森財団は平成30年度に実施した糺の森環境保全事業などに助成いたしました。

助成総額 4千3百75万円

- 史跡糺の森台風被害復興事業
台風被害による倒木撤去や復旧に係る事業の初年度工事。 助成額 2千7百万円
- 第2期糺の森整備工事
神宮寺跡の糺池復元工事 助成額 4百万円
- 史跡「御蔭神社境内」保存整備事業
助成額 3百万円
- 史跡「御蔭神社境内」災害復旧整備事業
助成額 3百万円
- 賀茂御祖神社境内防犯設備改修事業
助成額 5百万円
- 境内環境保全事業
助成額 百万円
- 流鏑馬神事の保存と騎射育成事業
助成額 50万円
- 葵の庭整備工事
助成額 25万円

台風21号復興募金にご協力いただきありがとうございました

台風直後の9月5日より平成31年1月末日までに、15,792,061円の募金をいただきました。お預かりした募金は糺の森の倒木撤去や、今後の復興事業に充当させていただきます。ありがとうございました。この復興募金活動は引き続き実施いたします。また新たな取り組みとして、森への植樹を推進するため、皆様に「糺の森の守人」になっていただく活動をおこなっております。どうか変わらぬご支援とご協力をお願いします。

下鴨神社 京都学問所だより

昨年は「明治一五〇年」にあたり、文久三年の孝明天皇賀茂社行幸御親拝から明治時代中期ごろの下鴨神社と下鴨村の様子に関する資料群を秀穂舎にて展示しました。これに合わせ、明治時代から昭和時代初期にかけての下鴨神社や下鴨地域の写真を探していたところ、珍しい絵はがきを入手しました。

この絵はがきは、大阪毎日新聞が自社の複製機（大毎十号機）にて京都の街を空撮したシリーズで、「下鴨剣先」と名付けられています。「剣先」とは、賀茂川と高野川が合流する三角地帯のことを指します。

撮影された時期は、昭和三～五年ごろかと思われます。理由は、①葵橋が無い（大正七年に流失、廃橋。昭和三十五年再架設）②賀茂大橋が無い（昭和六年架設）③賀茂川、高野川の護岸工事が行われ三角地帯が南に延び、一本橋であった出町橋が出町橋と河合橋に分割されている（大正七年に分割）④梅ノ木町に京都一中（現、府立洛北中高等学校）の校舎が見える（昭和二年に起工。同四年に吉田近衛町から移転）⑤下鴨本通が無い（昭和十七年竣工）⑥糺の森が鬱蒼としている（昭和九年の室戸台風で約八割が倒木）などの点から、昭和三年の昭和御大典（即位礼・大嘗祭）を記念して撮影されたものではと推測しました。昭和の御大典当時を知る興味深い資料となりました。



第29回 螢火の茶会

月日：6月8日(土) ※明治の納涼茶席を再開した「螢火の茶会」。裏千家によるお茶席と境内に舞う螢をお楽しみください。
時間：午後5時～9時
場所：下鴨神社楼門内

【参加方法】

● お茶席
財団会員および招待者のみ参席。会員の方には5月中旬に案内をし、申込みを受け付けます。当日財団入会者も参席可(数に限りあり)。

● 螢鑑賞(境内および森)
自由に鑑賞できます。午後7時頃に森散策路に放流。

同時開催 「糺の森納涼市」

時間：午後1時～9時 ※京菓子・京漬物・お酒など有名老舗約20店が出店します。お買物をお楽しみください。
場所：楼門前

世界遺産糺の森文化講演会 平成31年夏講座

月日：8月中旬 ※現在内容については検討中です。決定次第、ホームページやチラシ等でご案内いたします。もう少しお待ちください。
場所：下鴨神社
参加：無料(自由)

詳細はホームページをご覧ください。

糺の森財団 www.tadasunomori.or.jp

下鴨神社 www.shimogamo-jinja.or.jp

お問い合わせは糺の森財団事務局まで ☎075-781-0010

催事案内

遊び、学ぶ、糺の森のつどいあれこれ

“春の”糺の森コンサート「音の森」

月日：4月29日(月・祝) 5月25日(土) 6月22日(土)
時間：午後2時～3時(予定)
場所：河合神社(糺の森南側)
参加：無料(自由)

※新緑と音楽を楽しめるコンサートです。春の一日、気持ちのいい森の中でお楽しみください。



第29回 糺の森市民植樹祭

月日：4月29日(月・祝) ※学術的、文化的に貴重な自然林の世界遺産の「糺の森」を守るため、毎年多くの方に参加いただき実施しています。
時間：午前10時～12時
場所：糺の森馬場特設会場

● 苗木植樹

子どもも大人もどなたでも参加いただけます。ムク・エノキ・カツラなど約50cmの苗木を植樹していただけます。お気軽にご参加ください。

参加費：1,000円(1名) ※スコップ・花鉢を進呈
申込：当日9時から会場受付にて

● 成木献木

子どもや孫の誕生、結婚周年など記念に成木を植樹して、森に思い出を残してください。お問合わせ、お申込みは事務局まで。

献木代：150,000円(1本)
事務局：下鴨神社内 ☎075-781-0010
申込：4月15日までお願いします